

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年08月01日

計画の名称	萩市における快適な生活環境の推進（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	萩市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心な環境を整え快適な生活環境を実現する												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,759	A	1,759	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2		R6
1	ストックマネジメント計画（処理場・ポンプ場・管渠）に基づく改築達成率を0%（R2当初）から53%（R6末）に増加させる。			
	ストックマネジメント計画（処理場・ポンプ場・管渠）に基づく改築達成率（%）＝改築済施設数（箇所）／計画改築施設数（箇所）	0%	%	53%
2	下水道施設の耐水化実施設計実施率を0%（R2当初）から100%（R6末）に増加させる。			
	下水道施設の耐水化実施設計実施率（%）＝設計済件数（件）／設計すべき件数（件）	0%	%	100%
3	内水浸水想定区域図策定等の実施率を0%（R5当初）から20%（R5末）に増加させる。			
	内水浸水想定区域図策定等の実施率（%）＝策定済件数（件）／策定すべき件数（件）	0%	%	20%

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	萩市	直接	萩市	終末処 理場	改築	処理場改築事業（萩浄化 センター）	機械・電気設備工事	萩市		■	■	■	■	1,550	－	策定済	
		①																		
	A07-002	下水道	一般	萩市	直接	萩市	終末処 理場	改築	処理場改築事業（萩浄化 センター）	調査・詳細設計、施工監理等	萩市		■	■	■	■	■	150	－	策定済
		①																		
	A07-003	下水道	一般	萩市	直接	萩市	－	改築	下水道施設耐水化事業	調査・詳細設計等	萩市			■	■	■	■	30	－	－
		②																		
	A07-004	下水道	一般	萩市	直接	萩市	－	－	内水浸水対策事業（萩処 理区）	調査・詳細設計等	萩市						■	10	－	－
		③																		
	A07-005	下水道	一般	萩市	直接	萩市	－	－	ストックマネジメント 計 画策定	見直し・計画改定	萩市						■	17	－	－
		①																		
	A07-006	下水道	一般	萩市	直接	萩市	－	－	管渠改築事業（全処理区 ）	調査	萩市						■	2	－	策定済
		①																		
											小計							1,759		

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											合計						1,759			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
萩市上下水道事業審議会にて、事後評価を実施	事業完了後
	公表の方法
	萩市ホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・萩市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、年次計画的に老朽化施設の改築に努めたことにより、施設管理の最適化が図られた。 ・萩市下水道事業耐水化計画の策定により、河川氾濫等の災害時においても一定の下水道機能を確保し、下水道施設被害による社会的影響を最小限に抑制するために必要な対策を効率的、効果的に推進することが可能となった。 ・浸水シミュレーションを実施したことにより、精度の高いデータを用いた内水浸水想定区域図を作成することが可能となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
・第2期ストックマネジメント計画に基づき、引き続き適切な処理場・ポンプ場の改築を図る。 ・浸水シミュレーションに基づき、引き続き重点計画に移行した内水浸水対策事業の推進を図る。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道ストックマネジメント計画に基づく改築達成率		
	最 終 目標値	53%	国への交付要望額に対して交付決定額が減額されたことにより、当初予定していた改築が実施できず目標を下回ることとなったが、優先順位により計画的な施設の改築に努めた。
	最 終 実績値	34%	
2	下水道施設の耐水化計画の策定率		
	最 終 目標値	100%	効率的な事業執行に努め、目標を達成した。
	最 終 実績値	100%	
3	内水浸水想定区域図策定等の実施率		
	最 終 目標値	20%	効率的な事業執行に努め、目標を達成した。
	最 終 実績値	20%	

(参考図面) 防災・安全交付金

